混ぜればゴミ 分別すれば資源

11/

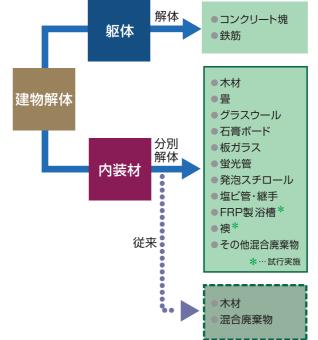
循環型社会経済システ

サイクル推進棄物全体の見 替事業におい る「 特定建設資材」(コンクリート、アスファルトコンクリート、サイクル法(平成12年5月施行)で再資源化が義務づけられ いて建設廃棄物のリサイクルに全国規模で取り組んでい進に取り組むことが求められ、UR都市機構としては建最終処分量の20%程度を占める建設産業は、先導的にリ会経済システムの構築をめざすわが国において、産業廃

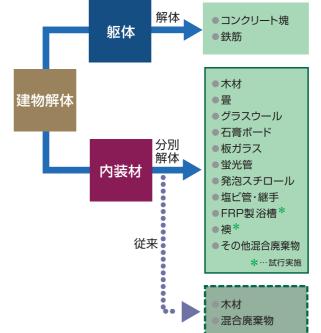
など9 り組んできました。 されてきましたが、 また内装材は、従来は混合廃棄物として能な団地で実施しており、CO゚の削減にま し自ら再利用を行う「コンクリート建設発生木材)については、ほぼ1 品目に細分化 平成13年から石 平成18年からはさらなる削減に向けて 分別解体・ の削減にも貢献してい はさらなる削減に向けて、いまま・回収して最終処分量の削減に取石膏ボード、塩化ビニル管、蛍光管、物として大半が埋立てて最終処分 塊リサイクルシステム」 0%達成し、 (ク)製の 現地団地内で再生 · 襖 の も導入可

解体します。

も試行的に取り組



UR都市機構におけるリサイクルの流れ



重機により金属とコンクリートに分別。また、手作業で 異物を除去します。

粉塵の飛散を防止するため に散水しながら、重機により

団地内や外部の再生プラント で破砕し、再生砕石を製造しま



やゴミをゼロにし、完全な再生利用を図ること循環型社会の実現のため、産業を中心に廃棄物ゼロエミッション

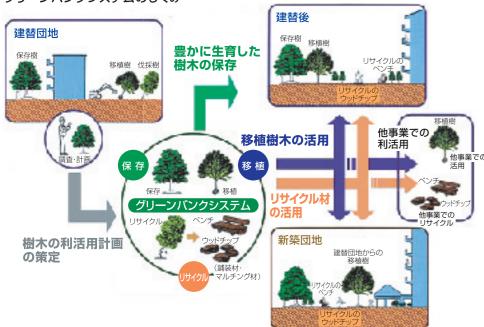
温区管の継手

K)

再生砕石は路盤材等に使用し、鉄筋等は金属原料に再利用します。

内装材 再利用の流れ

グリーンバンクシステムのしくみ



0)

心を

次

0)

伝え

1

っっこ録を、次の世代へと伝えていきます。地域で愛されてきた風景と、団地にお住まいのでクルなどによって、環境負荷の低減と都市環境でな事業で統合的に有効活用するシステムです。保豊かな緑環境や、美しい景観を継承していくため、グリーンバンクシステムと 世代へと伝えていきます。 た風景と、団地にお住まいのお、環境負荷の低減と都市環境イ



団地のシンボルとなったヒマラヤ杉 武蔵野緑町パークタウン(東京都武蔵野市)



重機による移植作業 ひばりが丘団地(東京都東久留米市)



保存樹を示す再生材プレート



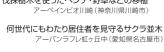
グリーンバンクシステムを活用した事例



居住者の植えた樹木も、思い出とともに 「メモリアルツリー」として移植



伐採樹木を使ったベンチ・野草などの移植 アーベインビオ川崎(神奈川県川崎市)







保存・移植樹木を活用した団地内公園

ペレットは、再生塩ビ管(発泡三層管)として再生されます。

躯体再利用の流れ

建物解体



石膏ボードとして再利用されま

再資源化

再資源化施設で破砕し、ペレット(加工用粒子)化されます。

再生砕石として利用

再資源化施設で破砕されます。

分別保管 • 回収 袋に入れ、バルコニーに一時保

付属品を除去し、再資源化に向けたランク分けをします。



バールやのこぎりにより解体し

